令和5年度　福井県立清水特別支援学校　スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進	センター的機能の充実
・スクールウェアの活用を充実させ、情報共有や校内の連携、業務の円滑化を図る。 ・資料の事前配付、会議の持ち方の工夫と議題の精選に努め、時間管理を意識して効率的に運営する。 ・効率化と改善を図るため、ホームページ、Google forms等を活用して電子化を進め、業務を見直す。	・研修を通して様々な人権課題を知り、人権尊重の意識を高める。 ・児童生徒の個性や特性を理解し、 自分も他者も大切にする指導を推進して、いじめ防止を徹底する。	・個に応じたよりよい支援の在り方を共有し、特別支援教育に関する専門性を高める。 ・校内の専門性を地域支援にいかす。 ・地域の特別支援教育の状況を把握し、特別支援学級関係者に向けた効果的な研修を行う。

重点目標

1　教育課程・学習支援	2　児童生徒支援	3　進路支援	4　校内支援	5　地域との交流
個別の教育支援計画をいかした授業づくりに取り組む。	児童生徒が安心安全で健康な学校生活を送るための支援を行う。	将来の生活を見通して、必要な支援を行う。	個に応じた豊かな生活を送れるよう必要な支援を行う。	交流及び共同学習をはじめとする地域活動を有意義なものにする。

具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
a 丁寧な実態把握を行い、将来身に付けたい力を明確にしながら個別の教育支援計画を作成する。さらに、個別最適な学びの在り方を検討しながら授業改善に取り組む。 目標：丁寧な実態把握から個別最適な学びの在り方を検討し、授業改善を行う。 80%以上	a 訓練や研修等を通して、教職員の危機管理に対する意識を高め個々の役割の理解を深めるとともに、児童生徒への防犯防災教育や保護者への理解啓発に努める。 目標：教職員の危機管理における個々の役割を理解する。 80%以上 b 本校独自の感染症対応マニュアル等を理解し、確実に実施するとともに保護者と連携して感染予防や拡大防止に努める。 目標：感染症対策について理解し、確実に行う。 80%以上	a 事業所等での生活を知ったり、福祉サービスについての情報を得たりして卒業後の生活をイメージし、在学中の支援にいかす。 目標：個々のニーズを確認し、それぞれに必要な進路支援を行う。 80%以上	a 関係者（保護者、教職員、関係機関等）と情報共有しながら、児童生徒に将来身に付けさせたい力を明確にし、児童生徒への支援にいかす。 目標：関係者と連携しながら、情報を校内で共有して必要な支援を行う。 80%以上	a 交流及び共同学習をはじめとする地域活動が有意義なものになるように、クラスや学部、交流相手校等で目標設定や振り返りを行いながら、実践する。 目標：交流及び共同学習をはじめとする地域活動の充実を図る。 80%以上